

常新新聞

刊夕日六十二月四

日刊 發行兼編輯人 川崎文治

本社 同番地（電話六三〇番）

印刷所 常盤毎日印刷所

定部金貳錢

一月五錢

三月一圓

半年一圓五錢

一年三圓

廣告費 五錢一行

印刷費 五錢一行

電話六三〇番

常盤毎日新聞

非現代的現代人

大島正徳

（二）

以上の如きは現代式の讀物と稱してよいが、その他の謂ゆる講談的な讀物として最も廣く民衆に讀まれ、大衆に歡迎されてゐる雜誌や單行物は何を示してゐるか云へば、それは徳川時代末期の謂ゆるチャン／＼パ／＼式の讀物である。街頭寫眞館の看板を見て、悉く徳川時代式であつて、現人の理想はそこに表はれ

てゐない。尤も人間の通有の問題として戀愛の問題などが絡んでゐることは、何時も變らぬ事柄であるが、それを特色づけてゐる時代意識は、徳川末期の氣分情調乃至世相である。さういふ世相と氣分と情調とを講談雜誌乃至その類の讀物を通じて耽讀してゐるものが現代人であり、又さういふ式の活動寫眞を喜んでゐるのが現代の青年男女であるこの點から觀察すると、現代の日本人の多くは、現代的具體的生活に即して體驗的の興味をもつてゐないと評してよい、今日の自治立憲の具體的生活——會社

や銀行や其の他複雑なる經濟組織、社會組織の生活に即して、そこに文藝的興味を見出して居ないのが現代の大衆作家である。我々は徳川時代の生活に於て描かなくとも、現代のこの實に複雑なる經濟生活に絡んだ興味ある人間生活を、又は政治生活に絡み、自治公民の生活をなす一員としての場面に絡んだ、興味ある人生を描く事が出来るであらう。



可認物便郵種三第 （號十八百五千一第）

廿六日替り封切

マキノ 特作根岸東一郎主演
仇討かゝい **大九郎**
珍談 とうな

澤田敬之助、河上君江助演
帝キネ藤間林太郎二役主演
現代 **試験への道**
杉村千枝子歌川八重子助演
大帝キネ！

市川百々之助大努力主演
前篇 **百鬼夜行**
東良之助、立花久江、二條玉子助演

子助演

片岡千恵藏身血傾注快傑篇
續々 **萬花地獄**
解結篇

料金特に普通

土曜學生デー

優秀 映畫 **有聲座**
東北封切場

流下藥

無効返金 價金四圓

月やく止まり心配の人は安心確實無害に流下し目的を達する當局發賣の強烈特殊藥を用ひなさい。

◎某店の如く無責任藥は賣らぬ

高き醫療より安い藥劑師へ
特に平町田町宇佐美藥局に

◇醫藥分業の標語募集
一等五圓貯蓄債券（以下略）四月三十日迄用紙ハガキ
塗料大廉賣 ○○コレクター油 一、七〇

木村外科専門醫院

入院自炊の便あり

平町五丁目橋際 電話 三〇九番

◇廿七日ヨリ六日間限り◇

市川松之助、梅若禮三郎、泉春子、原良介、林桂子、月村節子共演

金五郎改心録

説明……泉天明

鈴木傳明、八雲惠美子主演
◇スポーツの此の時傳明の大活躍

陸の王者

全

我等其名を若人よ……今日を恥なく生んかな
大地を賭ぐる戦ひは……榮冠永遠の光あり

説明……若月柯村

常盤操子、久米譲、中村英雄、澤村春子、淺見勝太郎 共演

蜘蛛

全

長崎の暗の港に龍神丸は姿を現した蜘蛛の一群女頭目夜櫻お蝶にまつはるまんじ巴の大血涙悲壯捕物

説明……石井孝

入場料普通

土曜學生デー

日活 **平館**
松竹

電球特賣

瓦斯入半消電珠一等品

特價

二〇ワット 廿五錢
三〇ワット
四〇ワット
六〇ワット
一〇〇ワット

マツダランプモアリアマックス

平町三丁目（電話十九番）

大谷時計病院

腕時計とユピワ

にはかに郊外が春のまきました……
春の御散歩のそとに

風ヨケニ是非必要な新型メガネの御用命は
平町五丁目

金光堂時計店

御時計修理品は電話七三六番へ御掛け下さい
早速店員御伺ひ致します

のどかな春!

旅行に！散策に！
皆さん御待ち兼ねの……

春の中折
鳥打帽子
子供さんの帽子

本月のウエンドウは春帽を陳列致しましたから御批評下さい

ツルヤ

電話百四十番

淋病

腸虫病

梅毒

皮膚病 婦人病

門專

院醫科 村松

（七〇一話電町南平）

共濟病院

平町（電話六四二番）

獨逸シーメンス、ユニバーサル、ヘリオドル

×光線新設

御大典記念事業トシテ

一、衛生試驗所
一、病氣相談所
一、救療所

●入院自炊ノ便アリ
●看護婦見習募集

公債、兩替 多田井ワカ商店
平町大工町

内科	小兒科	（院長毎日診療）
院長 醫學博士 難波	副院長 醫學士 五十嵐雄二	
内科 部長 中西林藏	外科 部長 整形外科 レントゲン科專門 氏重	
外科 部長 醫學士 桂家憲次	産婦人科 部長 女子泌尿科 レントゲン科 五十嵐雄二	
顧問 醫學博士 川添正道	本院醫學士 岡澤	
本院醫學士 賀澤	本院醫學士 澤忠治	
本院醫學士 賀澤	本院醫學士 澤忠治	
本院醫學士 賀澤	本院醫學士 澤忠治	

實質本位から 手織物に満足

農村一般が自覺して 織物の生産漸増

平税務署調査により昭和四年度中の織物生産高は四千三百三十八反この消費税は二千五百五十圓に達しこれを昭和元年度同二年に比較するに生産高税額においても増し頗る良好なる事業の跡を見てゐる同署の観測としては斯く良好なる成績に轉じたは石城地方の織物が主として縮緬絹織、ませ織で地方農村からの

これを前年度に比較すると各税一割三分弱の減である

選挙事務打合

石城庶務主任

石城郡各町村庶務主任會議は五月三日午前九時より平町元郡會議事堂に開催郡内町村選挙が概ね五月下旬より執行されるを以てこれが事務諸般の打合せを行ふ等で尚縣庶務課より掛員出張種々の指示並に注意がある

去月乗降客

一萬餘増す

平驛の近況

平驛における三月中の乗客人員は七萬三千四百四十三人降客人員七萬四千九百九十三人であり二月中旬の乗客人員六萬三千二百五十五人に對し三月中は何れも壹萬餘人を増してゐるこれは主に時節關係に依るものである各種學校の卒業入學試験等も影響し殊に同町が炭界の不況に拘らず年々急足の進歩を示してゐる結果に依つても肯定出来るもので昨年度同月より一般の不況に拘らず尚は非常な増加を見せてゐる事は東北屈指の驛なる事が遺憾なく現されてゐるもの

所得税調査

各税ともに

一割三分減

平税務署管内における所得税調査委員会は廿五日から廿日間平税務署樓上に於て開催されるが所得税の豫想額は第三所得税が約九萬圓營業収益税が三萬三千圓資本利子税が二千圓であつて

磐炭修養園

發會式を擧ぐ

磐城炭礦では修養園の支部を設けることになつて二十九日午後一時から石城郡内

明日の縣下青年總會

後藤文夫氏の講演

縣下聯合青年團第八回總會は明日廿七日午前十時より平町磐城中學校講堂に開催される事は既報の如く當日は種々協議決議各事項附議したる後大日本青年會館理事後藤文夫氏の講演がある筈で尚廿八日は縣聯合女子青年團の第參回大會を同所に開催東京三輪高等女學校長三輪田元道氏の講演がある筈で兩日の同町は非常な盛況を豫想されてゐる

當分は

代用車連絡

植田出願の

鮮魚列車に

植田町では逐年の海産物の増加と目下出願中で近く認下の運びに至つてゐる小瀬



漆器の手入れ

漆器の手入れにはやゝ熱い湯にてすすぎ、布をもつて水気を去り更によくかわいた晒木綿をもつてぬぐひ、

平營林署管内 本年植林狀況

全部で約十萬本

平營林署における國公林野官行造林地の春季植林面積は經常造林(更新共)九百五十六丁歩官行造林更新共四百三十五町歩にして全部で約十萬本の植付をさる五日から初め本月末日まで終了する豫定であるが品種は主に杉檜ノ木黒松等である今まで植付を終つたのは割合根付も良い模様である

白粉美人の

前借七百圓

其數六百四十

平營管内に於ける接客職業婦人と云へば無難に聞けるが同じ人の子である身を前借に縛られて酒席其他に客の氣嫌氣づまどる白粉美人の現在に酌婦一六二水仕二二七藝妓二〇〇娼妓四二合計六百四十一人に上り此前借總額は水仕四萬貳千六百參圓其他に於て四十萬壹千八百四圓計四十四萬四千四百七圓に達してゐる之を一人當りにすると七百圓弱である

炭價の恢復策に

委員を擧げて努力

貯炭の狀況を檢査

常盤各炭礦では經濟界不況の結果石炭の需要が激減し生産過剩に陥り貯炭が山をなすと云ふ有様になつたので一昨年以降七大各炭礦が出炭制限を行つて

生産過剩の緩和策

を講じた結果最近に於ては各炭礦の貯金も大部減少して來た、各礦では出炭制限をなすと同時に炭價を維持し苦しまぎれの亂賣を防止するために送炭の制限も實施して來たのであるが、昨

漸次恢復

して來てゐるもの、炭價の恢復については今一段の努力をする必要があるので近く各炭礦から二名位づゝの委員をあげて五月上旬各炭礦の貯炭狀況を調査した上炭價つりあげ對策を講ずる由である

會津巡覽團體 石城

會津人會の主催で五月十一日から十三日まで三日間天下の景勝たる會津柳津虚空藏、東山温泉、鶴ヶ城址、白虎隊記念塔等を巡覽すべく遊覽團體五百名を募集中であるが申込締切は五月十七日午前九時廿五分平驛發である

一村四十七名

樺太に移住

折笠村議が

同志と諮る

人口の増殖に反し耕作地がこれに伴はず殊に最近における財界不況のため縣下の農村は疲弊困憊の極に達し

娼妓の

陳列寫眞を

盗む馬車挽

平町五色町遊廓貨座敷業住吉樓を槍山謙方の娼妓寫眞陳列所に飾つて置いた娼妓

明日の 天氣豫報

南西の風
晴れ

艶子の大型寫眞價格十八圓が去る二十二日午後八時ごろ何者にか窃取されたので平署で犯人嚴探の結果石城郡高久村大字下高久荷馬車挽業鈴木國近(三)が盗み出しこれを平町月見町飲食店三好屋と松本かよ方に隠匿して置いたことが發覺二十五日平署に檢擧されたが鈴木は右の寫眞を眺めて一人よろこんでゐたもので一種の變態性慾者である